

「金の荷」初出荷



今季第1弾の出荷が行われた南方地区の早掘りタケノコ（きょう午前、延岡市高野町のJA延岡高野選果場）



謝辞を述べ、「今年も目標の出荷量を目指していただけたとありがたい。ちょうど20年前に中国の竹林で観察を行いましたが、皆さんがあなたの勉強を重ねた成果で今の部会があります。令和初の出荷。ますますの発展を願っています」と期待を込めた。

ズごとに選別。分けられたタケノコは流れ作業で出荷用の箱に詰められていった。

きょうの出荷量は69・
1kgで、このうち30kgが
「金の筈」と認定された。
次回の出荷は1月15日を
予定しており、金の筈を
含む青果タケノコは主に
東京新宿区の淀橋市場
へ、加工用タケノコは大
分の加工会社に出荷され
る。

昨年は豊作だったが、
今年は“裏年”といわれ

る年回りのため、青果と加工用合わせての出荷量は昨年(41.7㌧)よりも少ない25㌧を見込んでいる。

ズ」とに選別。分けられたタケノコは流れ作業で出荷用の箱に詰められていった。

る年回りのため、青果と
加工用合わせての出荷量
は昨年（41・7t）より
も少ない25tを見込んで

J.A 延岡のブランド野菜 12/23 主に東京・新宿区淀橋市場へ

延岡市南方地区の特産品・早掘りタケノコの初出荷がきょう、高野町のJA延岡高野選果場であつた。早掘りタケノコは行勝町、舞野町、小川町などの生産者でつくるJA延岡たけこの部会（小野昭治会長24戸）の生産者か、約11ヘクタールの竹林で栽培。毎年、上皇陛下の誕生日に合わせて出荷しており、このうち、先端の芽が地表に出で青くなる前に掘り出された「金の筍（たけのこ）」は、JA延岡（山本照弘組合長）のブランド野菜として都市部で高く評価されているほか、あると納税の返礼品としても重宝されている。

きょうは早朝から、5人の生産者が掘り集めたタケノコを次々と持ち込んだ。JAの担当者と小野部会長が重さや傷の有無を確かめながら、金の筈とそれ以外に分類し、2Lから2Sまでのサイ

昨年は豊作だったが
今年は“裏年”といわれ

の出荷量を目指していくだけだとありがたい。

る年回りのため、青果と
加工用合わせての出荷量
は昨年（41・7t）より
も少ない25tを見込んで

表彰式 青の国若山牧水短歌大会

12/23 高校の部 橋本さんに最優秀賞

日向市



表彰を受ける高校生の部最優秀賞の橋本さん
(22日、日向市中央公民館)



第7回マスターズ短歌甲子園大会

第9回青の国若山牧水短歌大会表彰式は22日、日向市中央公民館であり、入賞者それぞれに表彰状が手渡された。青の国短歌大賞は大分市の岸本恵美さん、県北からは、高校生の部で高千穂高校2年の橋本怜さんが最優秀賞を受賞した。主催は、日向市、同市教委、日向若山牧水顕彰会。(8面に入賞者と入賞作品)

今年は県内の小学生、の中の部と題詠「歩」の部の中学生、高校生、全国を合わせて5部門で作品を対象にした一般は自由題募った。

10首、一般の部自由題524首、同題詠「歩」の部503首の計364首の作品が寄せられた。

審査は、一般の部を若山牧水記念文学館長で歌人の伊藤一彦さん、小中高生の部を第17回若山牧

表彰式では、部門ごとに入賞者が登壇。大賞の岸本さんの「自転車のかごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よりもなしくてある日突然重さに気づく」など作品を読み上げた上で、十屋幸平市長らが受賞者に表彰状を手渡した。
講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。まるで短編小説のよう。子どもたちを捉えた名歌秀賞、優秀賞、優良賞、佳作を選んだ。」
表彰式では、部門ごとに入賞者が登壇。大賞の岸本さんの「自転車のかごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品

を読み上げた上で、十屋

幸平市長らが受賞者に表

彰状を手渡した。

講評もあり、伊藤さんは「31文字は素晴らしい。

まるで短編小説のよう。

子どもたちを捉えた名歌

秀賞、優秀賞、優良賞、

佳作を選んだ。

表彰式では、部門ごと

に入賞者が登壇。大賞の

岸本さんの「自転車のか

ごに世界の産声を満たし

て走る新聞少年」や、高

校生の部最優秀賞の橋本さん「命とはどの言葉よ

りむなしくてある日突然

重さに気づく」など作品